

松島湾・浦戸諸島の学びと交流

浦戸地域教育研究所のご案内

(うらとまなび研究所・寒風沢なりわい研究所)

2023 年度版



地元漁師と学生達と海洋学習体験

浦戸地域教育研究所 (寒風沢ステイ・ステーション内)

宮城県塩竈市浦戸寒風沢字中月 21

運営：大正大学福島研究室・出川研究室 NPO 法人里の自然文化共育研究所

連携協力：塩竈市浦戸振興課

問合せ mail：icesrc@outlook.jp (担当：出川)

1. 研究所の目的と役割について

浦戸諸島は、松島湾に浮かぶ風光明媚な島々です。里海と里山の恵みの中で人々が暮らしてきたこの島は、豊かな自然と文化が育まれており、未来に引き継いでいきたい宝の島です。

浦戸地域教育研究所（愛称：うらとまなび研究所・寒風沢なりわい研究所）は、浦戸諸島の地域に根ざした学びと活性化を目指す「うらとまなび」活動に取り組むため、住民と学生・研究者との交流と学習を促進し、研究・開発、教育・実践を行う現地拠点です。

(1) 浦戸諸島をフィールドとする研究・開発や教育・実践活動

(2) 住民と学生・教員等との交流・学習

(3) 専門プロジェクトの推進

- ・保全・継承・体験活動等の研究
- ・キッチンリヤカーの社会実装研究
- ・その他、浦戸の地域づくりに関する活動や研究



タッチプールによる子ども達の体験活動

2. 研究所の運営について

当研究所は、地域住民、大学、NPO 法人等、関連団体・組織等と共同して運営しています。現在、主な運営は以下のメンバーで行っていますが、研究所の利活用の広がりと共に、さらに組織化を進め充実させていく予定です。

私たちは、松島湾・浦戸に思いを寄せる人々と共に、当研究所を拠点とした活動を展開していきたいと考えています。是非ご支援・ご協力をお願いします。

2023 年度の主要運営メンバー

- ・大正大学地域創生学部 福島研究室、出川研究室、学生・OB 有志
- ・NPO 法人里の自然文化共育研究所
- ・漁師（寒風沢悦芳丸・鎌田雄大さん）
- ・農家（寒風沢農園・加藤信助さん）



研究所の活動を手伝う学生達

3. 主な活動と運営団体のご紹介

2023年度は、主に以下の取組を行っています。

- (1) 里山保全・整備・活用
- (2) 地域教育・学習や研究・開発
- (3) 地域生業研究・開発
- (4) その他地域づくりの調査・研究

以下は、関連するウェブサイトです。

- ・ うらとまなび（浦戸諸島の保全/整備/活用や体験活動）

<https://uratomanabi.com/>



- ・ NPO 法人里の自然文化共育研究所（自然学習/教育研究）

<https://sato-ken.org/>



- ・ 地域創生の教育学（大正大学出川研究室ウェブサイト）

<https://degawaken.com/>



海辺の森保全/整備活動（里山活動）

4. 年間のスケジュール（主なもの抜粋）

- 4月 里山散策会・春の郷土料理教室
- 5月 離島田んぼのお手伝い（田植え）
- 6月 メンマづくりプロジェクト
- 7月 タッチプール、離島田んぼのお手伝い（草取）
- 8月 夏休み子ども交流・学習イベント
- 9月 秋祭り支援・秋の郷土料理教室
- 10月 離島田んぼのお手伝い（稲刈り）
- 11月 散策道・竹林保全整備(1)
- 12月 散策道・竹林保全整備(2)
- 1月 バイオマス活用・足湯・炭焼き(1)
- 2月 バイオマス活用・足湯・炭焼き(2)
- 3月 春休み子ども交流・学習イベント



離島農業で取組む水田作業



竹ボイラーによる足湯体験

施設使用上の留意点について

【研究所施設について】

研究所は寒風沢ステイ・ステーション2階の談話室にあります。研究所にあるオンライン設備、書籍、道具類等利用できます。使用後は元の場所にお戻しください。

ウッドバーニング、のこぎり、なた等の刃物類や、工芸品材料等の消耗品の使用については、研究所スタッフにご相談ください。



研究所でのミーティングの様子

【寒風沢ステイ・ステーション（寒風沢SS）について】

寒風沢SSでは、宿泊・自炊などできます。寒風沢SSの利用の流れと使用上の注意概要は以下の通りです。詳細は、別紙「浦戸ステイ・ステーションご利用案内」をご覧ください。

(1) 利用の流れ

- ① 管理人からのオリエンテーション
- ② 鍵と寝具（シーツ類）の受け取り※宿泊の場合
- ③ 片付け・点検
- ④ シーツ・鍵の返却

(2) 使用上の注意

①キッチン・食堂

- ・使用後は、原状復帰するよう片付けをお願いします。使用物品はSS利用者専用棚へ収納をお願いします。
- ・冷蔵庫は、滞在期間中の食材等を保管できます。退所時に持ち帰りをお願いします。飲み物等は、誤飲防止のため2階の研究所の冷蔵庫やストッカーへ保管ください。
- ・食器・調理器具・洗剤は、SS利用者専用のものをお使いください。それ以外のは他関係者のものとなりますので利用しないようにお願いします。
- ・ゴミは、専用のゴミ袋に、燃えるゴミと燃えないゴミで分別してください。※ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。

②風呂

- ・使用後に簡単に水あらいなどの清掃をお願いします。排水溝に髪などがたまりやすいので、使用後、除去いただくようお願いします。

③その他

- ・館内は構造上響きやすくなっているため、夜間等、扉の開け閉めや歩行など、音のエチケットをお願いします。

※その他ステイ・ステーション規約をしっかりと読んで、ご対応のほどお願いします。



SSの食堂スペース